

よねさとづくり通信 No.176

よねさとづくり協議会
令和6年10月1日発行



彼岸も過ぎ、長かった夏もひと段落、ようやく秋の訪れを感じられるようになりました。

10月19日から22日の間、第36回全国健康福祉祭（ねんりんピック）とっとり大会が開催され、全国各地から多くの方が来県されます。いろいろな催しを通じて、地域や世代を越えたつながり、持続可能な地域づくりを進めていきましょう。

「米里チャンネル」はこちら。
敬老会での演技の一部がご覧になります。



敬老会 5年ぶりに開催

9月16日の敬老の日、米里小学校体育館において5年ぶりに地区敬老会が開催されました。猛暑は続き、稲刈りも例年より早くなったこともあり、従来より時間を短縮しての開催となりました。

コロナ禍の4年間は、地区社会福祉協議会から75歳以上の皆さんに敬老の記念品が贈られていましたが、この日の敬老会には、対象となる75歳以上620名のうち74名が出席され、多くの元気なお顔が拝見できました。

地区社協の山根幸子会長の開会あいさつの後、来賓祝辞、市長ほかのメッセージ紹介、詩吟朗詠と続き、堀哲男公民館長による乾杯の音頭の後、保育園児の「だるま踊り」、東大路女性会の「そらまめ音頭」、コールそらやまの女声合唱と、寿ぎの演技が披露されました。

御来場の皆さんは、演技をご覧になりながら、にこやかに歓談され、楽しく心温まるひとときを過ごされました。



開会あいさつ



そらまめ音頭



だるま踊りの後、園児たちはせんべいを配りました。

地域ふれあいルームへようこそ

9月3日、小学校の1年教室の隣の地域ふれあいルームで、地域の人たちを対象とする学習発表があり、18名が参加しました。現在使われていない教室を使っただけの初めての試みです。

1年生は足し算と引き算を計算カードを使って、地域の人に問題を出してもらい、一生懸命答えていました。6年生は総合学習で学んだ古墳について、タブレットを使ってグループごとに発表してくれました。また、参加者には6年生による冷たいお茶のサービスもありました。

次回は10月8日（火）9:30～10:00、3年生と6グループに分かれて米里かるたをします。ぜひ子どもたちとのふれあいに誘い合っ出かけてください。

古墳について発表する6年生



町内会だより ～雲山中央～

雲山中央町内会は、設立22年目の米里地区で最も若い町内会です。新興住宅地として開発されたため、住民同士のつながりを強めようと設立後早い段階から「夕涼み会」を開催しています。コロナ禍で開催できなかった年を乗り越え、今年も盛大に開催することができました。多くの出店やゲームコーナー、子どもたちとはまなす会の方との米里音頭、ビンゴゲーム大会、花火など賑やかで笑顔いっぱいのひと時となりました。

また、はまなす会がごみステーションに袋を設置してアルミ缶を回収したり、集会所に古紙や段ボールを集め、毎月業者に持って行ったりしています。

これからも人と人が繋がる町内会、人や自然に優しい町内会をめざして活動をしていきたいと考えています。

（雲山中央町内会長 志和俊哉）



防災初動マニュアルを作成中

8月末、心配された台風10号も大きな被害なく過ぎましたが、いざというときに備え、町内会ごとにも初動の訓練が大切です。

今年の計画に基づき、9月14日に、自主防災会連絡協議会を中心に防災初動マニュアルの検討が行われました。

町内会長や自主防災組織の代表が1年ごとに交代する町内会が多い中、いざという時の拠り所として大まかな動きを理解し、引き継いでいただきたいからです。



地震や風水害の際、それぞれに町内会でどのような動きをしたらいいか、消防団、防災リーダーにも検討に加わっていただき、暫定版として区長部会で報告予定です。それをもとにそれぞれの町内会で実際に訓練を行い、実情に応じたマニュアルや体制づくりが求められます。



これまでのよねさとづくり通信がご覧になれます。

*インスタグラムでの情報発信も始めました。「よねさとづくり協議会」(tottori.yonesato)で検索してみてください。